# ニッポン美人化計画

Photo: Jun Kato (object)
Text: Ryoko Kobayashi

MAKE-UP: UDA (S-14)

MISSION
53
2014.10

PHOTO: HAL KUZUYA
STYLING: Naoko Shiina (aosora)

ファンデも、マスカラも、ラインもなし。カラーだけなのに、色選びのセンスで、ここまでメリハリが利かせられます。

ニット¥34,000(ドゥロワー | ドゥロワー 青山店)／ラインピアス(三角ピアスとセット)¥10,000(エーオーユム)



## 今月のミューズが生まれるまで

**花子さん**
Groovy Nuts スタッフ
2014.5.19 at Sendagaya
Photo: UDA

「垢抜けたファッションに目を奪われた」とは、UDAさんの花子さんに対する第一印象。淡いピンクのニットに白いパンツ。モダンで東洋的な美しい顔立ちに、きゅっとまとめた髪。

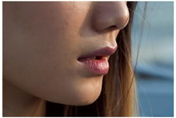
「そこに、鮮やかなピンクの口紅を合わせていたのを見て、オシャレな人だなと。メイクに、ワンポイント強い色を使うのは、きっと彼女の必勝パターン。そこで、いつもとは違う淡い色使いを提案してみました」（UDAさん）

選んだのは、オレンジとピンク。

「素肌にやわらかい色がのっているのがイメージ。ベースは取り去り、瞼にオレンジを。口元の青みピンクは、黄み寄りのオレンジといい意味でケンカする組み合わせ。つなぎにピンクのチークを入れれば、全体は淡い印象だけれど、それぞれが際立ちます」（UDAさん）

マスカラやラインは入れず、これで完成。

「目元がキリッとしていてパーツにキレがある花子さんのような顔立ちの人には特に似合います」（UDAさん）



花子さんがベースメイクに塗っていたというBBクリームを、スポンジで肌をなでるようにしてオフし、ほぼ素肌の状態に。目元は、オレンジのアイカラー(1)を薬指に取り、眉の下から睫毛の際に向かってポンポンと広げる。色を塗る範囲は、眉側が長い台形。さらに眉側に一番色が濃くつくようにするのが、暖色のオレンジをすっきりつけるコツ。リップは、くっきりした青みのピンク(3)を選び、指で塗る。唇の輪郭をはっきり描かずにアウトラインになじませる。チークは、青みの淡いピンク(2)。体温が上がったときに火照って赤くなる部分を中心に、鼻にもプラス。眉は、花子さん本人が描いていたままの、太くナチュラルなラインを生かした。

### UDA

メイクアップアーティスト。雑誌・広告、女優やアーティストを担当。緻密な理論に基づいたテクニックは、日々進化中。本企画では、モデルハントやディレクションも。「最近、街の人たちのメイクに、個性とアイデアを感じることが増えました」

3　2　1

1: 冴えた発色のオレンジを使用。シルクのような質感。SHISEIDOルミナイジング サテンアイカラー トリオ OR-316 ¥4,000＊限定発売中(資生堂インターナショナル)
2: 肌をトーンアップして透明感をもたらすパステルピンク。ナチュラルな立体感をもたらすセミマットな仕上がり。ブラッシュ 33 ¥3,600(ボビイ ブラウン)
3: ブルー系ピンク。自然なツヤで美しい唇に。リップスティック 211 ¥3,000(ポール＆ジョー ボーテ)

**美人化モデル募集中** 「ニッポン美人化計画」では、街でのハントに加え、ページに登場してくれるモデルさんの募集を本格スタートしました！ 自薦・他薦は問いません。UDAさんのメイクアップで、新しい自分を発見してみませんか？ 受け付けはFacebookから。https://ja-jp.facebook.com/mhginza